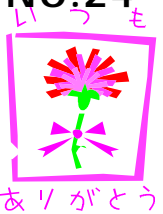


被災地と、みんなを結ぶ

2013年12月19日 No.24

# つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 [rentai@sv.rengo-net.or.jp](mailto:rentai@sv.rengo-net.or.jp)

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

J E C 連合  
の  
取り組み紹介

## 労働組合として何ができるかを討論

### ～福島県いわき市で開催～

J E C 連合は、11月21日～22日、福島県で中央討論集会を開催し、一つの分科会で「労働組合として震災復興に向け何ができるのか」をテーマに、グループディス

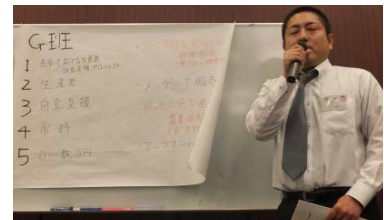


カッションを行い、J E C 連合の復興支援について検討しました。2011年3月の東日本大震災の年に初めて討論集会で社会連帯・貢献に関する分科会を設け、今年で3回目となります。

できるプロジェクトを検討しました。

提案内容は、今後 J E C 連合の社会連帯・貢献推進チームの中で実施の可能性を検討します。

例年熱海で開催していた会場を福島県いわき市へ移して開催。出席者 369 人の中から 58 人がこの分科会に参加しました。また 2 日目には、いわきで被災地視察とボラン



ティア研修（ふくしまオーガニックコットンプロジェクト）を実施しました。

（詳細は次頁参照）

今後も J E C 連合の復興支援プロジェクトについて、本ニュースでお届けさせていただきます。

以上



本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 [rentai@sv.rengo-net.or.jp](mailto:rentai@sv.rengo-net.or.jp)

11月22日(金) ■2日目 被災地視察・ボランティア研修(昼食・資料・土産(コットン製品)含む) ■

行程

ホテル出発 12:20頃 ———— ご昼食・学習会 12:50頃～13:50頃 ———— ボランティア活動 14:00頃～14:15頃 ———— 被災地視察 14:15頃～15:15頃 ———— いわきら・らミュウ 15:15頃～15:40頃 ———— 湯本駅 到着 16:10頃

学習会



いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター(NPO法人ザ・ピープル)から、震災時や震災後の復興活動についてご説明をしていただきます。

また、我々がボランティアを行う、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトについてもご紹介いただきます。

<http://onahama-volunteer.jimdo.com/>

※会場:新舞子ハイツ

※ご昼食はお弁当対応になります。

被災地視察 ～豊間・薄磯地区～



いわき市の中でも多く震災被害を受けた、豊間地区と薄磯地区をご案内いたします。バスから降車していただき、現地の状況についてボランティアセンターの方からご説明をしていただきます。

ボランティア活動・オーガニックコットン収穫



福島いわきの農業の復興・再生に向けてコットンの有機栽培を行っています。このコットンを収穫しTシャツやコットンペイブ(人形)などの製品をつくり、被災者への支援に充てられています。今回はコットンを収穫していただきます。

※持ち物・着替えは必要ございません。雨天時は中止となります。

いわきら・らミュウ視察



いわきら・らミュウは小名浜港で水揚げした新鮮な魚介類市場や、レストラン、お土産コーナーなどがいっぱいいわきを代表する総合施設です。東日本大震災での津波被害により1階部分がほぼ壊滅し、営業停止状態となりましたが、その後復旧し、同年11月25日にリニューアルオープンしました。

